

有識者を交えた相模川の現地視察

// 視察日時

令和7年5月21日（水曜日）9時30分から14時30分ごろまで

// 参加者

（敬称略、五十音順）

〈氏名〉 〈所属・役職名等〉

浅枝 隆 （埼玉大学 名誉教授）

坪井 潤一 （国立研究開発法人水産研究・教育機構 主任研究員）

宮本 仁志 （芝浦工業大学 教授）

他 水道5事業者（神奈川県企業庁、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、神奈川県内広域水道企業団）、神奈川県（政策局、県土整備局、環境農政局）

// 視察場所

今回の現地視察では、寒川取水堰から相模大堰までの区間について、次の5か所のポイントを中心に視察を行いました。



- ① 寒川取水堰（堰の上下流、魚道）
- ② 大神スポーツ広場付近（寒川取水堰の湛水域）
- ③ 戸沢橋付近（玉川の合流点、鮎の産卵場）
- ④ 中野多目的広場付近（鮎の産卵場）
- ⑤ 相模大堰（堰の下流、魚道）

// 視察状況

今回の現地視察で確認されたものを踏まえて、第3回有識者会議では、今後の河川調査の具体的な進め方などの議論を行いました。

① 寒川取水堰



ここでは、堰の管理橋の上から、堰の上流側や下流側の河川の状況、魚道の様子を視察しました。

② 大神スポーツ広場付近



大神スポーツ広場付近では、寒川取水堰の湛水域※1の様子を視察しました。

※1：湛水域とは、堰などの河川施設によって河川の水が貯留され、水位が高く保たれた状態の区域のこと

③ 戸沢橋付近（玉川合流点付近）





戸沢橋付近では、相模大堰と寒川取水堰の間に流れ込んでいる玉川との合流点付近や相模川の瀬と淵※2の様子、寒川取水堰の湛水域上流側の鮎の産卵場などを視察しました。

※2：瀬とは川の流れが早く浅い場所、淵とは流れが緩やかで深い場所のこと。

④ 中野多目的広場付近



中野多目的広場付近では、相模大堰の下流側の鮎の産卵場を視察しました。

⑤ 相模大堰





神奈川県内広域水道企業団が管理する相模大堰では、堰の下流の状況や魚道の様子を視察しました。